

WG 活動報告

2. 急性骨髄性白血病(AML)【成人】

① WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者：高見 昭良	金沢大学附属病院	血液内科
金森 平和	神奈川県立がんセンター	血液内科
黒澤 彩子	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
矢野 真吾	東京慈恵会医科大学	腫瘍・血液内科
増岡 和宏	国家公務員共済組合連合会 三宿病院	血液内科
今橋 伸彦	一宮市立市民病院	血液内科
藤田 浩之	横浜市立大学附属病院	リウマチ・血液・感染症内科
高木 伸介	虎の門病院	血液内科
田口 潤	長崎大学病院	血液内科(原研内科)
小澤 幸泰	名古屋第一赤十字病院	血液内科
吉原 哲	兵庫医科大学病院	血液内科
福田 隆浩	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
横山 洋紀	東京慈恵会医科大学	腫瘍・血液内科
澤 正史	安城更生病院	血液・腫瘍内科
加藤 淳	慶應義塾大学病院	血液内科
田中 正嗣	神奈川県立がんセンター	血液内科
山下 卓也	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
増子 正義	新潟大学医歯学総合病院	高密度無菌治療部・第一内科
瀬尾 幸子	東京大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
横山 寿行	仙台医療センター	血液内科
鍬塚 八千代	名古屋大学医学部附属病院	血液内科

② 2011年1月末時点で承認された研究(※承認後に内容変更等で、不受理となったものは除く)

研究課題名	Principal investigator
成人 AML に対して iv Busulfan を用いた移植前治療による自家造血幹細胞移植の治療成績	山下 卓也
成人 AML に対して iv Busulfan を用いた移植前治療による同種造血幹細胞移植の治療成績	山下 卓也
AML 移植後再発に対する DLI の有用性と予後予測因子の解析	高見 昭良
第一寛解期 AML に対する緩和的前処置移植における低用量 TBI の必要性	瀬尾 幸子

③ 会議開催記録

日時	場所	会議内容
2011/1/15	都立駒込病院	概要書精査、研究計画策定。

④ WG の今後の活動方針・抱負など

成人 AML に対して iv Busulfan を用いた移植前治療による自家造血幹細胞移植の治療成績」をはじめ 4 課題が一元管理委員会の承認を受け、研究を開始しました。さらに、現在申請中の 14 課題も、承認され次第開始の予定です。成人 AML は症例数も多く、WG 内外からの期待も大きいと思います。造血細胞移植学会のたゆまぬ努力によりまとめられた高品質の一元化データを用いて、臨床に役立つ良質のエビデンスを発信していく所存です。